



No.119
(2024/12/1)

編集・発行：**教 育 課**

串本町サンゴ台690番地5

TEL 0735-67-7260 / FAX 0735-67-7326



表紙文化財紹介

熊野参詣道 大辺路 清水峠

国指定文化財 史跡
平成27年10月7日指定

今月号の表紙は熊野参詣道大辺路清水峠です。

熊野三山への参詣道「大辺路」のひとつで、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」にも登録されています。

田原と浦神の境界に昭和2年建立の「口熊野奥熊野境界址」から棒杭の谷に入って浦神に抜ける道が清水峠です。火成岩脈の峰に挟まれた谷を上っていくと、「右上田原左大へち」と刻まれた振分石があります。

第20回

串本町民音楽祭 出場者募集

第20回串本町民音楽祭の開催要項ができました。

町民音楽祭は様々なジャンルの音楽愛好者が、それぞれ趣向を凝らした演奏等を行い、観覧者を楽しませてくれます。

たくさんのご参加をお待ちしております。

開催要項、参加申し込みについては下記のとおりです。



趣旨

串本町の文化活動のひとつとして、町民各位の音楽鑑賞と発表の場を作り、より良い音楽活動と文化づくりに寄与する。

主催

串本町・串本町教育委員会
串本町音楽協会

日時

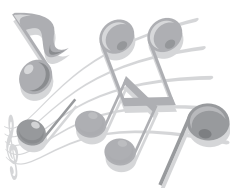
【器楽・合唱等の部】
令和7年3月2日(日)
午後1時から
【バンドの部】
令和7年3月9日(日)
午後1時から

場所

串本町文化センター 大ホール

ジャンル

器楽・詩吟・邦楽・民謡・吹奏楽
・コーラス・バンド 他



参加資格

串本町内に在住する個人またはグループ(町外に在住する方でも、町内のグループに所属している方は参加できます。)

※カラオケは全体で3組までとし、申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

演奏時間等

【器楽・合唱等の部】
1 団体8分以内
カラオケは1曲(2コーラス迄)
【バンドの部】
1 団体25分以内



参加申込

〈申込先〉

串本町教育委員会 教育課

0735(67)7260

〈申込締切〉

1月20日(月) 午後5時まで

リハーサル

【器楽・合唱等の部】

2月28日(金)

午後6時30分～午後9時30分

3月1日(土)

午前9時30分～午後9時30分

【バンドの部】

3月7日(金)・8日(土)

出場数に応じて調整予定

その他

○申込締切後、出場グループによるプログラム編成会議を行います。



第20回 串本町民総合展

11月8日から10日まで、町文化センターと町立体育館で串本町民総合展を開催しました。

この総合展は、町民の美術に関する愛好心と、鑑賞力を啓発し、美術作品の創造意欲を盛んにすると共に、町の文化向上、発展に資することを趣旨として毎年開催しています。

生花、押し花、山野草、フラワーデザイン、書道、俳句短冊、手芸、切り絵、ちぎり絵、俳画、写真、工芸、絵画など様々なジャンルの作品が737点以上出展されました。

今年も串本古座高校書道部の出展があった他、最終日には書道部が町立体育館の会場にてパフォーマンスを披露してくれ、観客を楽しませてくれました。

3日間で延べ1579人が来場し、多種多様な芸術文化を鑑賞されました。



第7回 串本町ビブリオバトル大会

11月9日に町役場会議室にて、第7回ビブリオバトル大会を開催しました。

ビブリオバトルは、発表者（バトルラー）が、おすすめの本（ビブリオ）の魅力を5分間のプレゼンテーションで紹介し、「どの本が一番読みたくなったか」を基準に観客（オーディエンス）が投票を行い、「チャンプ本」を決める書評合戦です。

この日は中学生7人と高校生2人が本の紹介を行い、中学生の部は嶋崎心彩さん（串本中学校3年）が紹介した「きこえる」（道尾秀介）が、高校生の部は西悠斗さん（串本古座高校1年）が紹介した「また、同じ夢を見ていた」（住野よる）がそれぞれチャンプ本に選ばれました。



西 悠斗さん（高校生の部チャンプ本受賞）



嶋崎 心彩さん（中学生の部チャンプ本受賞）

また、高校生の部準チャンプ本には、松下紗月さん（串本古座高校1年）が紹介した「硝子の塔の殺人」が、中学生の部準チャンプ本には森幸隆さん（串本中学校3年）が紹介した「常識の世界地図」（21世紀研究会）、雑賀諒さん（西向中学校3年）が紹介した「犬鳴村」（清水崇）が同得票で選ばれました。

チャンプ本に選出された2名は、12月15日に開催される県大会へ出場する予定です。

9名の発表者（バトルラー）と紹介本は次のとおりです。（順不同）

「常識の世界地図」
串本中学校3年 森 幸隆



「きこえる」	串本中学校3年	嶋崎 心彩
「監獄に生きる君たちへ」	串本西中学校3年	中村 大哉
「国立天文台教授が教える ブラックホールってすごいやつ」	串本西中学校1年	金谷 若葉
「ぎんなんみ商店街の事件簿 〜Sister編〜」	潮岬中学校3年	浦木 瑠花
「一寸先の闇」	潮岬中学校3年	松原 朱里
「犬鳴村」	西向中学校3年	雑賀 諒
「硝子の塔の殺人」	串本古座高校1年	松下 紗月
「また、同じ夢を見ていた」	串本古座高校1年	西 悠斗



ジュニア駅伝 チーム練習開始

来年2月9日（日）に和歌山市で開催される第24回市町村対抗ジュニア駅伝競走大会に向けて、串本町チームの全体練習がスタートしました。監督はジュニア駅伝OBの松下大祐さんに務めていただき、現在35名のメンバーで取り組んでいます。昨年の大会では、参加29市町村中15位と健闘しています。第24回大会でもより良い結果を出せるよう、選手たちは毎週練習に励んでいますので、応援よろしくお願ひします。



10月27日に串本町総合運動公園サン・ナンタンランドにおいて、第20回串本町民大運動会を開催しました。

この運動会は「町民相互の親睦と交流を図り、各人の健康づくりに寄与すること」を目的と



して行われるものです。

今年も各地区や団体の皆さんの協力を得ながら、開催することが出来ました。

開会式では、文化の日の表彰式が執り行われ、上家浩壽さん（90）が、長年社会体育の推進

第20回 串本町民大運動会



に尽力された功績により、表彰されました。

運動会では多くの参加者が一緒に競技を楽しんだほか、団体対抗リレーでは、各地区だけでなく職場やスポーツ仲間などの参加もあり、大きな声援で盛り上がっていました。

閉会時には、参加者が輪になって串本節保存会の演奏で串本節を踊りました。



第20回

串本町秋季グラウンド・ゴルフ大会

10月28日に県立潮岬青少年の家庭にて秋季グラウンド・ゴルフ大会を開催しました(町グラウンド・ゴルフ協会・町体育協会・町教育委員会主催)

大会は、グラウンドに設営した16ホールのコースを2周する形で実

施。愛好者126人が個人成績を競い、参加者のみなさんはそれぞれにプレーを楽しんでいました。
なお、上位入賞者については次のとおりです。(氏名右の数字はスコア・ホールインワン数)

男性の部				
1位	元平 忠夫	66	3	
2位	大岡 建	68	2	
3位	浅井 信之	69	2	
4位	和田 昇三	70	3	
5位	坂本 豪	72	3	
6位	青木 勇	72	1	
7位	濱口 智道	72	1	
8位	奥村 虎尾	73	3	
9位	増本 達彦	73	1	
10位	山崎 季嗣	74	1	

女性の部				
1位	前山 眞弓	72	2	
2位	土井 俊枝	74	1	
3位	中地三重子	75	2	
4位	安田ワサエ	75	1	
5位	元平みわ子	76	2	
6位	友宗佐江子	77	1	
7位	山崎トシエ	78	1	
8位	地主 春美	78	1	
9位	岩橋 文子	80	2	
10位	田中 淑子	80	2	



男性の部上位3名



女性の部上位3名



10月20日、串本町・和歌山県主催、一般財団法人地域創造共催による公演「音楽とダンスが出会う



公演会

「音楽とダンスが出会う夢の旅」

夢の旅〜響きの先のあしたへ〜」が串本町文化センターにおいて開催されました。

公演では、バイオリニストの北島佳奈さんとピアニストの上野絵理子さん、ダンスカンパニー「セレノグラフィカ」の隅地葉歩さん阿比留修一さんが出演。クラシック音楽とコンテンポラリーダンスの共演で、音楽とダンスの魅力表現しました。



灯台

10月15日、午前8時9分串本発の普通電車に乗ることから今回の旅が始まった。二面編

成の列車は、普段車で移動する際目にする景色とは異なる様相を呈してくれた。

紀伊勝浦駅に到着すると南紀4号が停車していたが、折悪しく新宮駅構内での架線電気停電のため、21分遅れでの発車となった。

この特急南紀4号も二面編成で、面白いことに一両目が自由席、二両目が座席指定だったがほぼ満席で勝浦駅を出発した。途中で車掌さんが検札に回って来たので、ほうっと思つた。きのくに線では、コロナ禍以降巡回はしても検札は経験しないので。途中大雨の洗礼を受けながら走り続け、多気で「17分遅れ」とアナウンスされたが、結局名古屋駅には24分遅れの到着となった。新幹線ひかり650号に乘換え、東京駅でやまびこ6号に乗り継いで17時20分やつと目的の郡山駅に到着した。

翌日は大会が午後から開催のため、タクシーで開成山公園バラ園へ。季節柄色とりどりの花達はまばらだったが、その根元でせっせと世話をしている人達を見かけ、思わず「ご苦労様」と声をかけそうになる。いろ

んな種類があることを知って、満開時の総覧を思い浮かべる。

途中鴨が悠然と泳ぐ池を巡ると噴水に遭遇。その奥には開拓者の群像と功績を称える記念碑が建立されていた。

帰りはバスに乗り、駅前ビルの屋上へ。市内一望の展望台から新幹線の線路を発見。秘かな願いが通じたのか、遙かかなたの山間から小さな小さな点が見えたような気がして、じつと凝視していると、だんだん丸味をおびて、ヘッドライトらしき形になってきた。

やがて後ろに列車らしき物体を率いているのが弁別できるようになり、「とき」はそのまま薄緑色の車体全容を見せて郡山駅構内に滑り込んでいった。

アクアマリンふくしま館長古川健氏の公演「開け！自然への扉」では、子どもたちに明るい未来を想像させ、希望を持たせる。

海を通して「人と地球の未来を考える」ために、山・川・海の自然体験を大事にし、未来へつなぐ子ども未来館を建設、地域と共に歩む水族館構想を描き実践されているというお話を聞く中で、サンマの養殖に取り組んでいるという言葉が耳に残った。

「震災語り部の会」では、言葉に出して行動することの大切さと、風

評や流言飛語は人の心で創り出すものだから人の心で解決できるが、自然災害はそうではないと教わった。

二つに割れた大屋根の下敷きになり、救出されるも頭部を五針縫うけがを負った女性が語り部となり活躍されているお話を直接聞いて、体中に衝撃が走る思いがした。被災しながらも尚、前を向いて生きようとするこの力強いエネルギーの源は一体どこにと感動する。

郡山第七中学校合唱部の澄み切った歌声。このままずっと聞き続けていたい気持ちを抱きながら「夕べのつどい」に入り、県内各地の食材を使用した郷土料理やおいしい地酒のおもてなしを心ゆくまで堪能した。

翌日午後、猪苗代湖岸を走るバスの窓から磐梯山を眺める。

会津富士と呼ばれる表磐梯山の頂上には雲がかかっていて何とも幽玄に見えた。進むにつれ、次は裏磐梯山を見ることがになったが、こちらは雲も晴れ、くつきりと雄大な姿が現れ、裾野も広く延びていた。

その噴火によってつくられた湖沼群五色沼。登り口に「日赤日常活動発生の地」と銘打った石碑がありその由来が記載されていた。

毘沙門沼を左手に見ながら歩いていくと、見事なエメラルドグリーン

に進んでいくと、大きな鯉が五匹まるで挨拶に来てくれたかと思えるほど近くに集まってきた。

時間の関係で赤沼までの途中で引き返すことになったが、途中一段と大きな緋鯉が一匹まるで立ち泳ぎしているのではと思えるような姿で寄ってきてにこやかに見送ってくれた。鯉にしてみれば単に餌ねだりに近づいただけなのかもしれないが…。

猪苗代湖を幼い頃海だと思っていたという俳優、西田敏行の訃報をその湖岸を通過中の帰りのバスの中で聞いた。これを奇縁と言うのだろうか。

偶然飛来した二羽の白鳥に別れを告げ、バスは一路郡山駅を目指した。
(山本 ちづき 編集委員)



子ども園児・小学生のみなさんへ クリスマス会のご案内

日時 12月21日(土)

10時00分から

場所 串本町立体育館

ゲームやレクリエーションなどの楽しいプログラムを用意しています。

いっしょにクリスマス会を楽しみませんか。

みなさんの参加をお待ちしています。

サンタさんから
プレゼントもあるよ!

※未就学児は保護者同伴で来てください。

主催：串本町こども会連絡協議会

共催：串本町教育委員会



令和7年 二十歳の集い

令和7年1月3日(金)

13時00分～(受付12時30分～)



式典会場：串本町文化センター・町立体育館

対象者：串本町出身者、串本町に住民登録のある方

平成16年4月2日から

平成17年4月1日までに

生まれた方

お問い合わせ：串本町教育委員会 TEL.0735-67-7260